

印刷物をスキャニングして作成しているため、画質が悪くなっております。200%に拡大してご覧ください。

## 操作のしくみと表示の見方

①ボタンを押すごとに確認音が鳴り、以下の順で表示が切り替わります。

※各モードで何らかのボタン操作（ライト点灯は除く）を行なった後に①ボタンを押すと、直接時刻モードに戻ります。  
 ※各モードのまま1~2分すると時刻モードに戻ります。（ストップウォッチモードおよびタイマー計測中は除く）

**時刻モード**

時刻表示 (ライト点灯)  
 グラフ表示  
 ①ボタン (モード切替)  
 ②ボタン (表示切替)

★曜日の見方  
 SU:日 MO:月 TU:火 WE:水  
 TH:木 FR:金 SA:土

時刻表示: 午後マーク (午前は不点灯) 分 時 10:00  
 日付表示: 曜日 日 00 30  
 秒表示: 秒 30

★表示切り替え  
 時刻モードで②ボタンを押すごとに、<時刻表示>、<日付表示>、<秒表示>が切り替わりますので、お好きな表示にしておくことができます。

★グラフ表示について  
 グラフ表示はいつでも現在時刻の秒に連動して点灯/消灯を繰り返します。

★報知音の確認  
 ①ボタンを約1~2秒間押し続けると、選ばれている報知音が1秒間鳴ります。(「■モニターアラーム<報知音切り替え>」参照)

**針合わせモード**

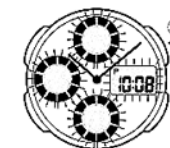
モードマーク

## ■表示照明用ELバックライトについて

どのモードのときでも、④ボタンを1回押しすとデジタル部が約2秒間発光します。

→暗いところでも、デジタル部の表示を見ることができます。

※デジタル部発光中に④ボタンを押すと、その時点から引き続き約2秒間発光します。ただし、④ボタンを20秒以上押し続けると、自動的にライトが消えます。



## <ELバックライトの発光に関するご注意>

- 直射日光下では、発光が見えにくくなります。
- 発光中でもアナログ(針)部の表示は見えにくくなります。
- 発光中にアラーム等の電子音が鳴ると発光を中止します。
- 発光中に時計本体より音が聞こえますが、これはELパネルが点灯する際の振動音であり、異常ではありません。

**アラームモード**

モードマーク  
 アラーム番号 アラーム時刻

約2秒後

**ストップウォッチモード**

モードマーク  
 計測値

約2秒後

**タイマーモード**

モードマーク  
 タイマー時間

約2秒後

印刷物をスキャニングして作成しているため、画質が悪くなっております。200%に拡大してご覧ください。

## デジタル部の時刻・カレンダーの合わせ方

電池交換後などで時刻やカレンダーが合っていないときは以下の方法で合わせてください。なお、月に1度くらい秒合わせをすると時刻はいつも正確です。

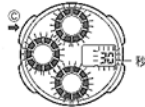
### ■時刻・カレンダーの合わせ方

(1) 時刻モードのとき、

③ボタンを約1～2秒間押します

→「秒」が点滅します。  
※グラフ部も同時に点滅します。

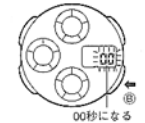
(以下、アナログ部省略)



●「秒」合わせ…±30秒以内の遅れ/進みの調整  
「秒」が点滅しているとき、

時報に合わせて、③ボタンを押します

→「00秒」からスタートします。



秒が00～29のときは切り捨てられ、30～59のときは1分繰り上がって「00秒」になります。  
※時報は「時報サービス117番」が便利です。

●「時刻・カレンダー」合わせ

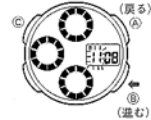
a. ③ボタンを押します

→③ボタンを押すごとに点滅箇所の以下の順で移動します。点滅箇所がセット可能ですので、③ボタンを押してセットしたい箇所を選びます。



b. ⑤または⑥ボタンを押します

→⑤ボタンを押すごとに点滅箇所の数字が進み、⑥ボタンを押すごとに数字が戻ります。  
※⑤・⑥ボタンとも押し続けると早く進みます。



上記a、bの操作を繰り返して、「時刻・カレンダー」を合わせます。  
※「12/24時間制切替」表示のときは、⑥ボタンを押すごとに12時間制(12H)と24時間制(24H)が切り替わります。

★「時」のセットのとき午前/午後(P)にご注意ください。  
★年は1995～2039年までセットできます。正しく年月日をセットすると、自動的に曜日が表示されます。なお、カレンダーは、うるう年および大の月、小の月を自動判別するフルオートカレンダーですので、電池交換時以外の修正は不要です。

(2) セットが終わりましたら、③ボタンを押します

→点滅が止まり、セット完了です。  
※点滅表示のまま1～2分すると自動的に点滅が止まります。  
※デジタル部の時刻を修正すると、アナログ部の分針が、修正した分だけ自動的に時計回りに進みます。(針は逆方向には進みません)

## アナログ(針)部の合わせ方

時刻モードのときに③ボタンを4回押すと、針合わせモードになります。

電池交換後などで、アナログ時刻がデジタル時刻とずれているときは、以下の手順でアナログ時刻を合わせてください。

(1) 針合わせモードのとき、

③ボタンを約1～2秒間押します

→デジタル部の現在時刻が点滅します。



現在時刻

(2) ③ボタンを押します

→分針が時計回りに進みますので、デジタル部の時刻と同じ時刻を表示させます。※押し続けると早く進みます。(針は逆方向には進みません)



(進む)

(3) セットが終わりましたら、

③ボタンを押します

→点滅が止まり、セット完了です。  
※点滅表示のまま1～2分すると自動的に点滅が止まります。

●自動復帰…針合わせモードのまま、1～2分間ボタン操作を行なわないと、自動的に時刻モードに戻ります。

## タイマーの使い方

時刻モードのときに③ボタンを3回押すと、タイマーモードになります。

タイマーは、1秒単位で最大60分までセットできます。残り時間が0になると10秒間電子音が鳴りタイムアップを知らせます。

### ■タイマーの使い方

タイマーモードのとき、

③ボタンを押すごとに計測がスタート/ストップします

→減算計測は1/10秒単位で行ないます。

★計測ストップ後、③ボタンを押すと計測前の表示に戻ります。

★ロスタイムがあるときは  
減算計測中、③ボタンでストップ後、もう一度③ボタンを押すと、表示タイムに引き続き計測を始めます。

③ → ③ → ロスタイム → ③ → スタート    ストップ    再スタート    タイムアップ

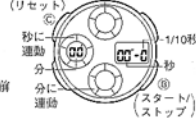
### ■タイムアップになると

残り時間が0になると(タイムアップ)と10秒間電子音で報知します。  
※電子音が鳴っているときに、いずれかのボタンを押すと、音が止まります。  
※タイムアップの報知音は音色を変えることができます。  
〔アラームの使い方〕 ■モニターアラーム参照

●自動復帰…タイマーモードのまま、1～2分間ボタン操作を行なわない(計測中は除く)と、自動的に時刻モードに戻ります。

(以下、アナログ部省略)

1/10秒に逆動



### ■タイマー時間のセット

準備: ③ボタンを押してタイマーモードにします。

(1) ③ボタンを約1～2秒間押します

→タイマー時間の「分」が点滅します。

(2) ③ボタンを押します

→③ボタンを押すごとに点滅箇所が「分→分…」の順で移動します。点滅箇所がセット可能ですので、③ボタンを押してセットしたい箇所を選びます。

(3) ⑤または⑥ボタンを押します

→⑤ボタンを押すごとに点滅箇所の数字が進み、⑥ボタンを押すごとに数字が戻ります。  
※⑤・⑥ボタンとも押し続けると早く進みます。

上記(2)、(3)の操作を繰り返して、「タイマー時間」を合わせます。  
※タイマー時間を60分にセットするときは、表示を「00' 00"」にします。

(4) セットが終わりましたら、③ボタンを押します

→点滅が止まり、セット完了です。  
※点滅表示のまま1～2分すると自動的に点滅が止まります。

印刷物をスキャニングして作成しているため、画質が悪くなっております。200%に拡大してご覧ください。

## アラーム・時報の使い方

時刻モードのときに③ボタンを1回押すと、アラームモードになります。

アラームは3つあり、分単位でセットできます。セットした時刻になると20秒間の電子音が鳴ります。また、毎正時(00分)に時報を鳴らすこともできます。

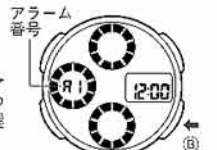
### ■アラーム時刻のセット/アラームのON/OFF設定

- (1) アラーム番号を選ぶ  
アラームモードのとき、

③ボタンを押します

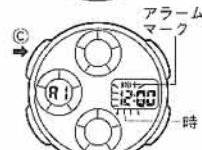
→③ボタンを押すごとに「アラーム1→2→3→時報→アラーム1…」の順で表示が切り替わりますので、セットしたいアラーム番号を選びます。  
※3つのアラームはいずれも同じ使い方です。

(以下、アナログ部省略)



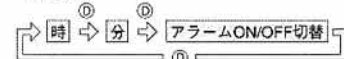
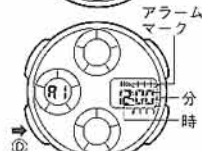
- (2) ③ボタンを約1~2秒間押します

→アラーム時刻の「時」が点滅します。  
※「III」マークが点灯し、自動的にアラームONとなります。



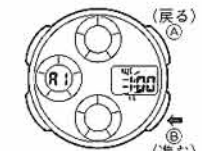
- (3) ③ボタンを押します

→③ボタンを押すごとに点滅箇所が以下の順で移動します。点滅箇所がセット可能なので、③ボタンを押してセットしたい箇所を選びます。



- (4) ③または④ボタンを押します

→③ボタンを押すごとに点滅箇所の数字が進み、④ボタンを押すごとに数字が戻ります。  
※③・④ボタンとも押し続けると早く進みます。



上記(3)、(4)の操作を繰り返して、「アラーム時刻」を合わせます。  
※「アラームON/OFF切替」表示のときは、③ボタンを押すごとにアラームON/OFFが切り替わります。(ONのときは「III」マークが点滅します)

- ★「時」のセットのとき午前/午後(P)にご注意ください。
- ★基本時刻が24時間制のときはアラーム時刻も24時間制で表示されます。

- (5) セットが完了したら、③ボタンを押します

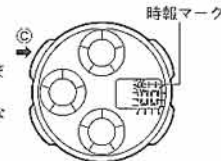
→点滅が止まり、セット完了です。  
※点滅表示のまま1~2分すると自動的に点滅が止まります。

### ■時報のON/OFF設定

準備：アラームモードのとき、③ボタンを押して時報表示にします。

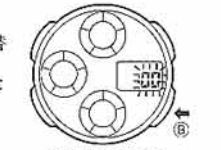
- (1) ③ボタンを約1~2秒間押します

→時報ON/OFF設定表示(点滅表示)となります。  
※「II」マークが点滅し、自動的に時報ONとなります。



- (2) ③ボタンを押します

→③ボタンを押すごとに時報ON/OFFが切り替わります。  
※「II」マークが点灯していないと時報OFFとなります。



- (3) セットが完了したら、③ボタンを押します

→点滅が止まり、セット完了です。  
※点滅表示のまま1~2分すると自動的に点滅が止まります。

### ■鳴っている電子音を止めるには

電子音が鳴っているときに、いずれかのボタンを押すと、音が止まります。

### ■モニターアラーム

アラームモードのとき、③ボタンを約1~2秒間押し続けると、押し続けている間、アラーム音が鳴ります。



### <報知音切り替え>

③ボタンを約1~2秒間押し続けるごとに、アラーム音が切り替わります(4種類)ので、好きな音色を選ぶことができます。  
※時報報知およびタイマーのタイムアップ音もここで選んだ音色で鳴ります。

※時刻モードのとき、③ボタンを約1~2秒間押すと、選ばれている報知音が1秒間鳴りますので報知音を確認することができます。

- 自動復帰…アラームモードのまま、1~2分間ボタン操作を行なわないと、自動的に時刻モードに戻ります。

## ストップウォッチの使い方

時刻モードのときに③ボタンを2回押すと、ストップウォッチモードになります。

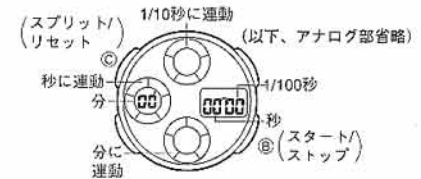
ストップウォッチは、1/100秒単位で59分59秒99(60分計)まで計測できます。(計測範囲を超えると、自動的に0に戻って計測し続けます)

### ■計測のしかた

ストップウォッチモードのとき、

③ボタンを押すごとに計測がスタート/ストップします

→計測値に運動してグラフ表示が点灯/消灯を繰り返します。



★計測終了後③ボタンを押すと計測値が0に戻ります。

★計測中に③ボタンを押すと、スプリット計測となります。もう一度③ボタンを押すとスプリットが解除されます。

※スプリット計測中は、表示は止まりますが内部では計測を続けています。

※スプリット計測中に③ボタンを押してモード切り替えを行なうと、スプリットが解除されます。

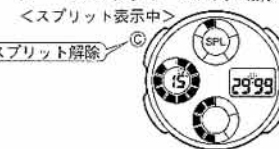
### ●通常計測

③ → ③ → ③  
スタート ストップ リセット

※積算計測…ロスタイムがある場合は、ストップ後リセットせずに再スタート(③ボタンを押す)すれば、表示タイムに引き続き計測を始めます。

### ●スプリットタイム計測(途中経過時間計測)

③ → ③ → ③ → ③ → ③  
スタート スプリット スプリット解除 ストップ リセット



### ●1・2着同時計測

③ → ③ → ③ → ③ → ③  
スタート 1着ゴール 2着ゴール 2着タイム表示 リセット  
(1着タイム表示)